

アマビエの樹 完成!!

7月3日、金栄小学校児童が描いた300枚のアマビエの絵を金栄小学校西側の桜に飾付けました。かるがもクラブ実行委員会やボランティアの皆さんが、1週間ほどかけて果樹袋に色付き緩衝材を入れ、LEDランプに取り付けました。当日はそれらを繋いで桜の木に飾付けました。赤や黄色や緑の袋が果実のように綺麗で、夜は点灯され、一層風情がありました。自分のアマビエの絵を探している子供さんもいらっしゃいました。インスタ映えすると写真を撮っている方も大勢いらっしゃいました。また、医療従事者への感謝を込めて、西側のフェンスに青色LEDを取り付けました。お手伝いくださった皆様、ありがとうございました。

アマビエの樹は、またどこかで飾ることも検討中ですので、お楽しみに！



ふれあい
金栄だより

令和2年
3月末現在
世帯数：2,839
人口：6,148
男性：3,001
女性：3,147

金栄公民館 広報部
TEL 33-3212



トンカカさん踊り奉納供養祭開催



7月17日、慈眼寺にて戦国戦没者に対する「令和2年度金栄トンカカさん踊り奉納供養祭」が開催されました。太鼓や三味線や唄に合わせて、踊り手さんが静々と踊る姿に鎮魂の思いを感じ、天正の陣での戦没者を偲ぶことができました。これからも「トンカカさん踊り」を後世に伝えて頂きたいと思えます。今年は新型コロナウイルス感染症対策のため、恒例の公民館での素麺接待は取りやめとなり、少し寂しさの残る奉納供養祭でした。

また、7月10日にひめころん（吉本芸人）が「トンカカさん踊り」の練習を取材に来ました。その様子は9月にハートネットワーク「ひめころんの今日は何ころん？」で放送されます。



一糸乱れぬ踊り手の皆さま

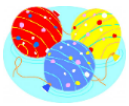


武者像参拝

ケーブルTV
山本さん



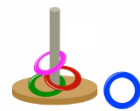
踊り指導を受ける
「ひめころん」さん



8月行事予定

2日(日)	少年補導定例会	19:00
3日(月)	婦人会役員会	10:00
5日(水)	老人会役員会	10:00
10日(月)	山の日	休館日
17日(月)	見守り推進委員会・民協会	19:00
25日(火)	自治会長会	19:00
31日(月)	婦人講座(料理教室)	9:00
9月1日(火)	ふれあい文化講座 スズランテーブルバック作り	10:00

*ふれあい文化講座は公民館まで申込んでください。(初心者・10名限定・費用500円程度)
*コロナウイルスの状況により変更になる場合があります。



ダーツ・輪投げ大会開催

7月8日(水)、公民館大会議室にて校区老人会主催のダーツ・輪投げ大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症対策でマスクをしての競技でしたが、楽しく参加されていました。各競技の入賞者には賞品が授与されました。

	優勝	準優勝	3位
輪投げ	佐藤 順一	渡辺 月子	佐野 勝明
ダーツ	佐野 勝明	越智 実	佐藤 順一



地震・自然災害に備えて防災訓練に参加しよう

地震や自然災害は、いつ、どこで発生するかわかりません。いざという時のためにも日頃からの備えが大切です。

大地震発生！あなたならどうする？

- 揺れを感じたら、まずテーブルなどの下にもぐり、自分の身を守ろう。
 - 揺れがおさまったら、安全な場所へ避難しよう。(家族の安否は大丈夫?)
 - 避難したら、安全が確認できるまで危険な場所には戻らない。
 - その後も不自由な生活が続きます。(電気・ガス・水道の停止)
- 非常持出袋を準備しておこう。中身は・・・非常食、衣料品、貴重品、救急、衛生用品、携帯ラジオなど必要なものを袋に入れて、持ち出しやすい場所へ準備しておこう。
- 地域のみんなで助け合って災害を乗り切ろう!
 - そのためにも自治会などで行われる防災訓練には進んで参加しましょう!

あけぼの句会

長き貨車過ぐ熟れ麦の照り返し
鴨足草古寺の石垣野面積
一本の百合の匂ひに寝つかれず
風青し杜を抜きんづ慰霊塔
梅雨に待つ通園バスのまだ見えぬ
児の帯に団扇差し込み送り出す
水嵩の増す濁り川蘆茂る

阪上史珠
伊藤美智子
小笠原絹枝
寺西光子
永井みり
日野敏子
光永愛美



移動図書館～青い鳥号～巡回予定

12日(水) 26日(水)
13:00~13:40



つばやき No.1



「私が小学生の頃は『トンカカさん踊り』を踊っていなかった」という地域の方のお話を聞き、気になり調べてみました。

「トンカカさん踊り」は小学生が学習し、運動会で披露しています。このように地域に根付いた形になったの

はほんの30年ほど前のことです。衰退していた「トンカカさん踊り」を地域の方が掘り起こし、氷見まで研究に向いたそうです。そしてまとめ上げた資料を当時の小学校長、公民館長に託し、皆様の協力の下、現在のように誰もが知る郷土芸能となりました。地域の方の情熱に胸が熱くなりますね。これから、ちょっと気になった事をつばやいていきたいと思ひます。